

新潟市みどりの田園クレジット（J-クレジット）の販売開始について ～農業分野における全国初の自治体運営管理プロジェクト～

本市では、水田から排出される温室効果ガス排出量の削減を目的とし、J-クレジット制度を活用した脱炭素の取組みを進めています。

このたび、令和7年度分の取組みによるクレジットが国より認証・発行されたことを受け、5月11日（月）からクレジットの販売を開始しますので、広報活動にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【クレジットの販売概要】

- クレジットの名称：新潟市みどりの田園クレジット
- クレジット販売者：新潟市
※販売事務の一部は、新潟市J-クレジット普及推進協議会へ委任
- クレジットの創出方法：水稻栽培における中干し期間の延長
- 販売数量：424t-CO2
- 販売単位：30t-CO2（1口）
- 最低販売単価：7,000円/t-CO2（税込）
※上記の最低販売単価以上の金額を購入希望単価として申込書に記載
- 購入対象者：新潟市内に拠点を有する法人 または 今後新潟市内に拠点を設置予定の法人
- 募集期間：5月11日（月）～6月12日（金）
- 購入者の決定方法：「新潟市みどりの田園クレジット販売募集要項」で定める評価基準に基づき決定

○詳細はホームページをご覧ください。

https://www.city.niigata.lg.jp/business/shoku_hana/shisetsuannai/nougyokasseika/jigyo/j-credit/midorinodenen_credit.html



<本プロジェクトの普及啓発ロゴマーク>



新潟市みどりの農業推進プロジェクト
J-Credit Project from Paddy Field in Niigata City

都市と田園が共存する新潟市において、市内水田由来のJ-クレジットの活用により、生み出される域内循環を新潟市の頭文字Nをモチーフにデザイン

【お問い合わせ先】

新潟市農業活性化研究センター

佐藤、小林

電話 025-362-0151（直通）

J-クレジットを活用した田園型循環都市の実現に向けて 新潟市みどりの農業推進プロジェクト ～J-クレジット創出者・購入者の募集～

J-クレジット制度とは

- ・温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度で、創出したJ-クレジットは温暖化対策に積極的な企業等に販売でき、カーボン・オフセットなど、様々な用途に活用が可能です。
- ・国は温室効果ガスの排出量削減、吸収に資する取り組みとして、現在70超の方法論を承認しており、農業分野では7種類の方法論が施行済みです（R8年4月時点）。

1 家畜へのアミノ酸バランス改善飼料の給餌

5 水稲栽培における中干し期間の延長

2 家畜排せつ物管理方法の変更

6 肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌

3 茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥

7 牛への飼料添加物を使用した飼料の給餌

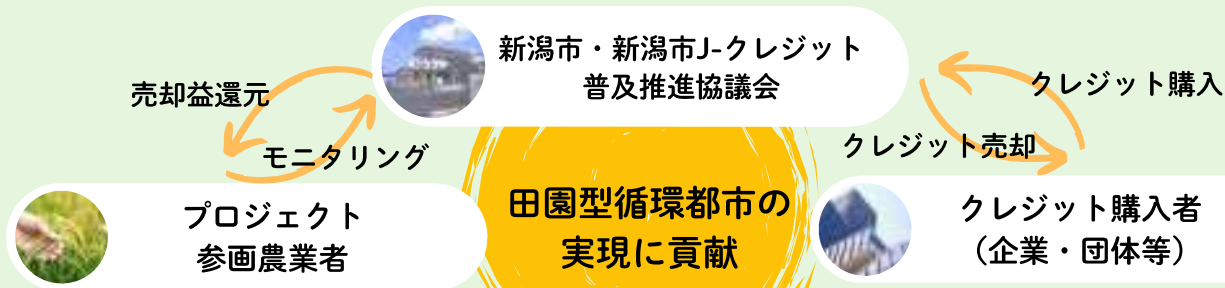
4 バイオ炭の農地施用

新潟市みどりの農業推進プロジェクトとは

・「水稲栽培における中干し[※]期間の延長」を活用し、水田から排出されるメタンガス削減を目指すプロジェクトです（R6年9月登録）。この取り組みで創出したJ-クレジットである「新潟市みどりの田園クレジット」により、地域農業や企業の環境保全活動の活性化を図ります。



- ・農業分野の方法論に取り組むプロジェクトの運営管理を、自治体が担うのは全国初の試みであり、新潟市が中心となり農業者、農業団体、金融機関等と設立した「新潟市J-クレジット普及推進協議会」（事務局：新潟市農業活性化研究センター）が取組みの推進母体となります。



※ 水稲の栽培期間中、稲の過剰生育の抑制や根の活力維持などを目的に水田の水を落とし土壌を乾かす作業のこと。国の試験研究では、中干し期間を延長することで、温室効果ガスの一つであるメタンの発生量を3割削減する効果が実証されています。

新潟市みどりの田園クレジットをつくるー農業者の皆さまへー

新潟市みどりの田園クレジット創出の流れ

事前準備

≫ 1 プロジェクト参加の事前確認

本プロジェクトの取り組み内容や入会要件を事前にご確認の上、参加希望の旨を新潟市までご連絡ください。取組みの手順などについてご説明します。

≫ 2 慣行中干し期間の記録（直近2カ年以上）

中干し期間の延長を予定している圃場について、**直近2カ年以上の慣行栽培における中干し期間を記録**ください。

≫ 3 プロジェクト入会届の提出

入会届と慣行中干し期間が記録された生産管理記録等の必要書類を新潟市へご提出ください（**会費は無料**）。

田植え前

≫ 4 排水性の確認（任意）（～5月下旬）

水はけが同等と判断される圃場分類毎に、**代表圃場1筆で日減水深を実測し、その結果を提出します**（初年度のみ）。水はけがよくない圃場ほど、削減量が多くなる可能性があります。

中干し期間中

≫ 5 中干し期間の延長

稲わらのすき込みや堆肥の施用状況等に応じて同一管理毎に圃場を分類した上で、**過去（直近2カ年以上）の慣行中干し実施日数の平均より、7日間以上中干しを延長**します。
例：慣行中干し実施日数の平均が8日間であれば、8日間+7日間=15日間以上中干しを実施

≫ 6 中干し期間延長状況の記録

同一管理の圃場毎に中干しの開始・終了日や実施期間等を記録するほか、その証跡（写真等）を準備します。

中干し終了後

≫ 7 必要資料の提出（7月下旬）

記録した中干し期間延長に関するデータを新潟市に提出します。
新潟市は、提出されたデータを基にクレジットの認証・発行手続きを国へ行います。

≫ 8 J-クレジット売却益の還元（翌年上期）

新潟市・新潟市J-クレジット普及推進協議会が相対で企業等へのJ-クレジット販売を行い、売却手続きが済んだ後、**温室効果ガスの排出削減量に応じ、売却益の一部を還元**します。

◎表記の内容は変更されることがあります。最新の情報は、協議会のホームページをご覧ください。

新潟市みどりの田園クレジット創出のメリット

創出したクレジットによる
新たな収入源の獲得



初期投資なしで、クレジットの
売却益による収入獲得

温室効果ガス排出量の削減に
伴う持続可能な農業の推進



環境配慮と経済的な利益を両立
する持続可能な農業の推進

プロジェクト参加による
コメの付加価値向上



温暖化対策に貢献したお米と
して消費者や取引先にPR可能

新潟市みどりの田園クレジットの購入—企業の皆さまへ—

新潟市みどりの田園クレジット購入の流れ

新潟市・
新潟市J-クレジット普及推進協議会

購入希望者

≫ 1 購入希望者の募集（5～6月）

国から認証・発行を受けたクレジットについて、「新潟市みどりの田園クレジット販売要領」に基づき、購入希望者をホームページ等で募集します※1。

≫ 2 クレジット活用方法の検討

自社商品、イベントにおけるカーボン・オフセットなど、クレジットの活用方法や購入希望数量などを事前にご検討ください。

■ 新潟市みどりの田園クレジットの活用例※2

クレジット種別	温対法の報告	カーボン・オフセット	GXリーグ	SHIFT事業	経団連CN行動計画
農業由来	○	○	○	○	○

≫ 4 購入者の決定（6～7月）

新潟市内に本社を有するか等、募集要項に定める評価基準により、評価点が高いものから順に購入者を決定します。

≫ 3 購入申込書類の提出（5～6月）

ホームページより様式をダウンロードし、必要事項を記入、添付書類をご準備の上、申込を行います。

≫ 5 契約締結～代金の納付（7月）

新潟市J-クレジット普及推進協議会との契約締結後、購入代金を納付します。

≫ 6 クレジットの移転・無効化（7～8月）

購入者からの代金納付確認後、クレジットの移転又は無効化手続きを行い、購入証明書を発行します。

≫ 7 クレジットの使用

購入申込時の計画に沿って、クレジットを活用します。

≫ 8 使用状況の報告

使用した年度の年度末までに、クレジットの使用状況等について報告を行います。

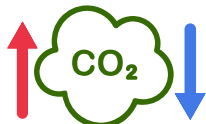
◎表記の内容は変更されることがあります。最新の情報は、協議会のホームページをご覧ください。

※1 販売数量、最低販売単価、募集期間等の詳細は、募集の都度ホームページにてお知らせします。

※2 活用先のルール変更等により取扱いが異なる場合がありますので、必要に応じて各活用先の最新情報をご確認ください。

新潟市みどりの田園クレジット購入のメリット

製品・サービスの差別化



製品生産過程等で発生するCO₂排出量をオフセットすることでの差別化

消費者・株主へのPR効果



クレジット購入を通して、環境貢献企業としてのPRが可能

新たなビジネス機会の獲得



クレジット購入で構築された新たなネットワークを活用し、ビジネス機会を獲得

J-クレジット制度の活用で新潟市が目指す先

1 環境に配慮した持続可能な農業の推進

- 環境負荷低減に向けた機運の醸成、農業者個々の意識改革
- 農業者の新たな収入源の獲得
- 農産物（コメ）の付加価値向上

2 ESG市場における地域企業の持続的な成長と競争力強化

- 市内企業の脱炭素化に向けた取組みの支援
- 企業価値向上による市場での競争力強化
- 地域貢献と対外的な企業PR効果

3 農業由来の脱炭素がもたらす田園型循環都市の実現

- 創出したクレジット・資金が域内で循環する仕組みの構築（域内経済循環）
- 地域農業や企業の環境保全活動の活性化
- 新潟市の環境価値向上



新潟市の強み
全国トップクラスの農業力
米の産出額 全国1位※1
水田耕地面積 全国1位※2

※1 R5年市町村別農業産出額 ※2 R5年作物統計調査

自治体運営管理の強み
J-クレジット証跡の確保

地元産クレジットによる
域内好循環の創出

「新潟市総合計画2030」に基づき、J-クレジット制度を活用し、
本市農業から世界規模の課題、社会課題に貢献

問い合わせ先：

新潟市J-クレジット普及推進協議会（事務局：新潟市農業活性化研究センター）
〒950-1406 新潟市南区東笠巻新田3043番地1

☎ 025-362-0151 ✉ nogyoken@city.niigata.lg.jp

新潟市J-クレジット



プロジェクト参加者の募集、クレジットの販売情報は協議会のホームページに随時掲載します。

協議会HPはこちら